

地区労福協のとりくみ

県内10地区で行政や市民団体、NPO、地元企業と協力して地域の課題に取り組んでいます。

フードバンクの取り組み、居場所づくり、地域づくり
弱い立場の人たちの支援、自死予防、消費者を守る取り組み
自らが出資者となり事業化する協同労働の取り組み
子育て、防災、環境保護など活動は多岐にわたります。



下越地区 〒957-0054 新発田市本町1丁目1-6 2F TEL. 0254-26-3705	新潟地区 〒950-0088 新潟市中央区万代1-6-1 バスセンタービル3F TEL. 025-255-6016	佐渡地区 〒952-1307 佐渡市東大通1291-1 連合佐渡地協内 TEL. 0259-52-4562	県央地区 〒955-0852 三条市南四日町1-15-8 ソレイユ三条内 TEL. 0256-32-6363	長岡地区 〒940-0036 長岡市愛宕3-7-24-2F TEL. 0258-86-0111
小千谷地区 〒947-8502 小千谷市千谷甲3000番地 JSファンタリ労働組合内 TEL. 0258-83-1285	十日町地区 〒948-8501 十日町市千歳町3-3 十日町市労連内 TEL. 025-752-3753	柏崎地区 〒945-0034 柏崎市三和町8番10号 友愛会館内 TEL. 0257-22-0505	上越地区 〒942-0081 上越市五智3-3-10 TEL. 025-544-0550	糸魚川地区 〒949-0305 糸魚川市青海1650 田辺工業労組内 TEL. 025-562-3497

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会



新潟県労福協とは？

新潟県労働者福祉協議会（新潟県労福協）は「県内で働く人、暮らす人すべての福祉（しあわせ）向上」を目指して1988年6月、連合新潟・労金・総合生協（現：こくみん共済coop）が立ち上げた組織です。

その後、活動・事業の広がりとともに10会員団体10地区組織で活動しています。

「自分のことはあとにしてでも困っている人たちの声を聴き、NPOや市民団体をはじめ弁護士等とも協力して弱い立場の人と助け合う」団体です。

原点は新潟大火（1955年）。大火事で住まいを失った人たちのために「自分たちが借金してでも困っている仲間を救おう」という熱い思いでした。その精神は70年が経つ今も脈々と受け継がれています。



労働者自主福祉運動とは…

- ろうきん**
質屋と高利貸しからの解放をめざして、労働者がみずからの手で作った銀行
- こくみん共済 coop**
火事で住まいを失った、一家の大黒柱を失い収入が途絶えた…困窮する仲間とその家族を救うにはカンパだけでは足りない…労働者共済の誕生
- ろうきん、こくみん共済coopは働く者が自主的に作った、たすけあいの組織。労働組合とろうきん、こくみん共済coopは「お客」と「業者」の関係ではなく、ともに運動する仲間。ここに「労働者自主福祉運動」と呼ばれる原点があります。

現在、10の組織が 会員団体として参加しています (2025年4月現在)

- 1) 日本労働組合総連合会 新潟県連合会
- 2) 新潟県労働金庫
- 3) こくみん共済coop新潟推進本部
- 4) (公財) 新潟ろうきん福祉財団
- 5) 新潟県退職者連合
- 6) 全日本港湾労働組合 日本海地方新潟支部
- 7) 新潟県生活協同組合連合会
- 8) 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 北陸信越事業本部
- 9) ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟
- 10) 生活協同組合コープデリにいがた



勤労福祉会館



勤労福祉会館では研修室をお貸ししています。各種会議、講習、セミナーから少人数でのミーティング等ご利用いただけます。

ご予約・お問い合わせは

2025年5月現在

	2F			
場 所	研修室1+2 (165㎡)	研修室1 (66㎡)	研修室2 (99㎡)	研修室3 (48㎡)
定 員	～80名程度	～20名程度	～30名程度	～16名
午前(9時～12時)	¥8,800	¥5,500	¥6,600	¥4,400
午後(13時～17時)	¥11,000	¥7,700	¥8,800	¥6,600
終日(9時～17時)	¥15,400	¥9,900	¥12,100	¥8,800

※土・日・祝祭日及び夜間(17時以降)の貸し出しは行っておりません。
 ※駐車場はありません。 ※マイク(1本目¥1,100/2本目から¥330)
 ※プロジェクター・スクリーン各(¥1,100) ※Wi-Fi無料 (消費税込)

2025.6.5000KP

福祉はひとつ

全国の労福協運動、創業の精神

様々な考えや組織の枠を超えて、すべての働く人、生活する人の福祉の充実と生活向上をめざす「福祉はひとつ」は全国の労福協運動、創業の原点です。

〒950-0965 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館内
 TEL 025-281-0890 / FAX 025-281-0891

新潟県労福協 検索
<http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

新潟県労福協 検索
<http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

こんな事業・活動をやっています

私たちはすべての人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります

家族のこと、相続のこと… 暮らしの困り事、何でも電話・相談 ライフサポートセンター事業

お金・暮らしのこと、こころの相談、
職場・しごとのこと、ひとりで悩まず、
まずご相談ください【相談無料・秘密厳守】
TEL：0258-86-8898（平日 10:00～16:00）

メールでの相談も受付けています
（指定受信設定をされている方は下記アドレスを登録ください）
アドレス nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp
新潟県ライフサポートセンターホームページ
http://www.nagaoka-lsc.jp/



新潟県LSC 検索

「ライフサポート」ってなに？ 「パーソナルサポート」ってなに？

ライフサポートセンター事業は「窓の外に出て弱い立場の人の声に耳を傾けよう」という労働者福祉運動の反省から始めた「暮らしの何でも相談」です。ライフサポート＝人生を支える、新潟では2007年から取り組みをスタートしました。

パーソナルサポートセンター事業は国のモデルプロジェクトとしてスタートした生活困窮者自立支援事業を、ライフサポートセンター事業を実施していた新潟県労福協が受託したものです。

パーソナルサポート＝ひとりひとりを支え、寄り添います。

平和があってこそ私たちの暮らし One minute silence (1分黙祷) の取り組み

平和無くして私たちの生活はありません。

世界の恒久平和と原爆犠牲者への追悼の意を込めて、広島・長崎に原爆が投下された8月6日、9日に1分間の黙祷を行っています。

ひとりでも多くの方の参加をお願いします。



生活困窮者自立支援相談事業 パーソナルサポートセンター事業

何日も食べていない、住むところなくなる、仕事が見つからない、借金を返せない、お金がなくて病院に行けない…

生活困窮者自立支援法にもとづき自治体が行う困窮者支援事業。労福協は新潟市と新潟県から事業を受託して、新潟市内と県内10町村で生活困窮状態にある方の自立支援相談事業を行っています。

- 新潟市にお住まいの方は
新潟市パーソナルサポートセンター
TEL 025-385-6851（平日 9:30～16:30）
- 町村にお住まいの方は
新潟県パーソナルサポートセンター
（下越事務所）
TEL 025-250-5160（平日 9:00～17:00）
（中越事務所）
TEL 0258-89-8345（平日 9:00～17:00）

くらす人の立場から政策を要請する 自治体政策要請

格差や貧困のない社会の実現をめざし、勤労者や県民の暮らしをサポートする事業を重点に新潟県や各自治体へ政策要請を実施しています。



消費者被害を防ごう 消費生活ネットワーク新潟

消費者被害の発生や拡大を防止する適格消費者団体NPO「消費生活ネットワーク新潟」の会員として活動に参加しています。

学費と奨学金返済に苦しむ若者を救おう 新潟県奨学金ネットワークの取り組み

2013年、奨学金返済困難者の急増を受けて「奨学金問題対策全国会議」が結成されました。

これを受け2022年、私たちは県内奨学金実施団体や弁護士、会員団体に呼びかけ「新潟県奨学金ネットワーク」を結成します。

学生ローン化した奨学金制度や高額な教育費の現実を広く社会に知らせること、奨学金実施団体の情報交換を目指し取り組みを進めています。



地域と連携したセミナーの開催 ワーク&ライフセミナー

各地区の労福協が、それぞれの地域の課題を掘り起こし、市民団体やNPOとも協力して様々なセミナーを開催しています。

名前の由来は「働くことと生きること」を考えるセミナー。「ろうふくきょう」ってこんなことをやっているんだ！と、知ってもらおうきっかけになると嬉しいです。

地域活動のリーダーを育てる にいがた福祉リーダー塾

地域活動の新しい担い手を育成するために、会員団体の若者や女性を集め「にいがた福祉リーダー塾」を2013年から実施しています。

勤労者の視点で暮らしを見つめる 調査・研究事業

新潟県からの助成を受け、県内外の地域状況や社会の動向を踏まえた勤労者の生活全般の課題についての調査・研究事業をおこなっています。

健康で文化的な生活をめざして 文化・スポーツ事業

会員および地域住民との交流や健康、体力づくりをめざして、勤労者駅伝大会やチャリティーゴルフ大会等を実施しています。



患者と家族の暮らしを良くするために 難病請願署名活動

2025年4月現在、日本では348疾病が指定難病とされています。この間の署名活動で一歩一歩助成制度が改善しています。完治しない病と闘う患者と家族が安心してくらすことのできる社会の実現に向けて署名活動への協力をお願いしています。

米どころ新潟でも毎日のご飯を食べられない人がいる フードバンクの取り組み

2012年10月に始めた労福協の生活困窮者自立支援相談事業（パーソナルサポートセンター事業）を通じて、食に困っている人がたくさんいることを知った有志が、米一合を持ち寄る運動を始めたところから新潟のフードバンク活動がスタートしました。

その後2020年、新型コロナウイルスの急拡大による生活困窮者急増を受けて県内各地にフードバンクが次々と発足します。（2025年4月1日現在26団体 新潟県フードバンク連絡協議会発表）

現在は各地区の労福協で各地のフードバンクと協力して食品を集めたり（フードドライブ）、食料品の配布会（フードパントリー）を行ったり、お米の精米を行うなど様々な取り組みを行っています。

自死予防の取り組み、ジェンダー平等の取り組みにも参加し、活動しています。